

【詩の部】

※作品内の表現については原文のまま掲載しています。

小学校 最優秀賞

「自分らしさを大切に」

中央小学校 5年 佐竹 ともさん

ロングヘアの男の人
かりあげてる女の人
自分が好きなかみがたをしているね

メイクをしている男の人
メイクをしていない女の人
どちらもきれいだね

ワンピースを着ている男の人
大きなうで時計をつけている女の人
みんな似合ってるよ

男の人と男の人が好きどうし
女の人と女の人が好きどうし
幸せそうだね

私も自分らしさをさがしていこう

小学校 優秀賞

「分かち合い」

日根野小学校 3年 栗山 真奈さん

だれかが悲しい思いをしていたら
いっしょにしよう
悲しみを分かち合おう

何かにきずついているのなら
いっしょにしよう
きずをいやし合おう

うれしいことがあったなら
いっしょにしよう
よろこびを分かち合おう

いつでもいっしょ
どんな気持ちの時もいっしょ
ふたりなら
悲しい時は半分こ
うれしい時は二ばい

十人なら 百人なら 千人なら
悲しみは うんと かるく
よろこびは もっと たくさん

色んな気持ち
みんなて分かち合おう

小学校 優秀賞

「明日」

日新小学校 2年生 中山 颯太さん
(題名とお名前のみ掲載します)

中学校 最優秀賞

「できること」

新池中学校 2年 尾崎 由菜さん

「今」この時も
病気と闘っている人たちがいる
私は病気を治すことも
元気にすることも
できない
でも
応援はできる
髪を寄付した
腰まであった長い長い髪を
バッサリ切った
この髪のが

誰かの勇気や希望、笑顔になるために
私はエールを送る
ただの傍観者にならず、
エールを送る
「できない」を数えず、
「できること」を探そう
ほら
「できること」を見つけたでしょ？

中学校 優秀賞

「平和とはなにか」

新池中学校 1年 黒瀬 歩佳さん

平和とはなにか
何の変哲もない日々
みんなと笑いあう毎日
前に進もうと思う気持ち
みんなが望んでいる毎日

ただただみんなが繋がって
世界中穏やかな毎日

戦争とはなにか
真っ赤に染まった世界
あちこちに鳴り響くサイレンの音
幼い子どもの泣き叫ぶ声
ひどい怪我を負いながらも
必死になってはぐれた子どもをさがす母親
笑顔をこの世から消して
恐怖のどん底につき落す
真っ黒になった世界だけが視界に残る
もう二度と
おこしてはいけないもの

戦争が起きる前は
みんな幸せな時を過ごしていた
戦争が全てを奪った
大切なものを失った
家族や友達を失った
命を失った

この世界からいろいろなものが
消えていく
原子爆弾も落とされ
生き残った人々も 黒い雨に打たれ
命が尽きる
こんな世界は誰も望んでいない

ただ生きてほしかった
ずっと笑っていてほしかった
人々の命を奪う戦争は
こんなにも残酷なものなんだ
戦争が終わったところで
人々は帰ってこない

これ以上被害を増やしてはいけない
私達は今何をすべきかを考えて
今私達の命があることに誇りを持って
生きていくんだ

平和とはなにか
尊いもの
ずっと続いてほしいもの
これを毎日続けていくために
私達が考えていくもの

みんなから愛されているもの

中学校 優秀賞

「ふつう」ってなに？

長南中学校 3年 井手 麻織さん

「ふつう」ってなに？

目が見える
耳がきこえる
体が自由に動く

でもそうでない人もいる
目が見えない人がいる
耳がきこえない人がいる
体が自由に動かせない人がいる

「ふつう」って誰が決めたんだろう
自分のふつうはみんなのふつうではない
みんなの個性を認め合う
そんな社会にしていきたい
そんな世の中にする
私から行動をして変えていく
